

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1173200856		
法人名	株式会社ライフータルサービス		
事業所名	ライフタウン愛里		
所在地	埼玉県比企郡小川町小川715-2		
自己評価作成日	H25年1月21日	評価結果市町村受理日	平成25年4月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/11/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyouvoCd=1173200856-00&PrefCd=11&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社ユーズキャリア		
所在地	埼玉県熊谷市佐谷田3749-1		
訪問調査日	平成25年2月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様の残存機能をいかし、出来る事はなんでもやっております。また、充実した日々をお過ごし頂くために個別のレクリエーション、学習療法などを生活に取り入れています。利用者様と職員の間は関係はとて良く、共に助け合いながら生活を送っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

設備の整った病院に隣接し、周りに梅林がある住宅地という環境に恵まれた「ライフタウン愛里」は、おしゃれな建物で、キッチンを中心に左右2ユニットのホームで、中庭があり、その先に野菜や花を作る畑もある。民生委員の清掃の協力により、職員が30分の個別ケアが出来るようになった。傾聴ボランティアによる学習療法を採り入れ、楽しみながら徐々に成果も出てきている。開設して10年目となり、地域に溶け込んだ運営が出来ようになってきている。職員や入居者の笑顔があり、雰囲気も良い。職員の定着率も良く、定期的に入居者への聞き取りを行い、意向に添ったきめ細かな支援に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の高齢者が集まり体操をしたり、昼食をとったりして楽しむサロンがあり、そのサロンののとして参加。	地域密着型サービスに叶った理念「地域に溶け込んで」を月例会で唱和し、職員全員で確認している。具体的には地域のサロンに参加し、楽しむ支援をしている	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方がホームの愛犬の散歩をしてくださったりする事により地域の中にとけこんだホームになっている。	自治会に加入して地域の活動情報を頂き、ホームで作る無農薬野菜を地域の皆さんに買って頂いたり、ホームの愛犬の友達が訪問してくれたり、日常的に交流がある。	地域も高齢化が進む中、地域のニーズを捉え、例えば介護が必要になった人達のケア相談を受ける要としての役割等を期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の高齢者の方が集まるサロンで認知症の勉強会を行う時のお手伝いをする。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を通じて民生委員さんたちが、ボランティアでお掃除などをしてくださる事になったりした。	年6回開催している。運営推進会議メンバーが積極的に関わり、医療関係の情報を提供して頂いたり、民生委員からは清掃ボランティアの協力を頂く等、双方向的会議となっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターの職員さんとは、傾聴ボランティアさんの紹介などを通じて協力関係を築いている。	包括支援センター職員と連絡を密にとり、推進会議にも出席頂いている。部屋の空き情報等を伝えたり、ボランティアの紹介等もしてもらっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中の玄関施錠は行っていない。倫理委員会の設置。倫理委員を中心に防止に取り組んでいる。	現在4名の方がいるが、倫理委員会を月1回開き、症状の原因をひもとき、どのような対応をしたら改善できるか、「しないケア」について取り組んでいる。玄関の施錠はしていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	倫理委員を中心に一年に1回は、勉強会を開催して、身体拘束0をめざす努力をしている。	/	/

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者様の中で後見制度を利用している方がいらっしゃる為おおまかには、理解できている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の説明は、チェックシートを作成して説明もれを防ぎ、丁寧な説明を心がけている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部評価の閲覧はいつでも出来る様になっている。又意見箱を4箇所を設置している。意見が入っていた時は、月例会議などで取り上げる。	家族会を年2回行い、意見、要望を聴く機会を作り、又、個別面談も行っている。ガラス戸に目印をつけてほしい、手洗いのタオルを清潔にしてほしい等の具体的な要望があり、ミーティングで話し合い、反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝のミーティングで30分の意見交換を行い決定事項は通達書に記入理解できた時にはサインをして情報共有を図る様にしている。	月一回の月例会や朝のミーティングで意見を出し、改善に取り組んでいる。服薬方法に細心の注意を払い、個別に対応し、オムツの使い方等も工夫し、日常的な関わりの中で職員のアイデア、気づきを運営に取り入れている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	能力給を検討。シフトに協力的な職員や病欠で急なシフト変更に応じてくれた職員には、報酬を検討している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	複数事業所連携会議に参加して他施設の職員との交流をはかったりする。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	複数事業所連携研修に参加したり、他のグループホームの入居者様が慰問に訪れたりしながら交流を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居見学の時悩みを聞きだすチャンスである。入居を決める事により、悩みの改善は一部出来る事を説明をする。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の話の聞ける時間を大事にしたい。交わした約束は必ず守る。最初の信頼関係は何より大事と考えている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	インホームなサービスの重要性を理解して頂けるよう説明する。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として尊敬の念を持って接せる様に心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	介護の仕事は、代行業であり後本人の手や足の代わりとなる事。または家族の代わりとなる事により支えあいながらの介護を心がけている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話をかけたり、や手紙を書いたりを自由に出来る支援をしている。又入居前に利用していたなじみの店への買い物も行けるようにしている。	馴染みの友人が介護タクシーを使い面会にきてくたり、関わりのある民生委員もきてくれる、家族も外食に連れて行き、楽しませてくれている。ホームではこれまでのつながりが途切れないよう支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ひとりである利用者様には、職員が声がけをする。数人でお茶会などしている場合は見守る様心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	命日にはお線香をあげに行ったり、年賀状のやり取りをしたり、クリスマスプレゼントの交換をしたり入居者様に合わせたお付き合いの継続を心がけている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別にケアできる時間をつくっている。やりたい事への支援をしている。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望の把握に努めているが、意向等把握できない場合は、25項目のアンケートに基き、本人の意向に添えるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のサービスを把握して新しいプラン作りに反映させる努力をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	残存能力を最大限にいかしたお手伝いをして頂けるようお手伝いの種類の選択を慎重にする。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族とは、ケアプラン作成後意見交換を書面にておこなっている。意見を参考にプランの変更をする事もある。	サービス会議で要望を聴き、アセスメントし、現場職員の意見を探り入れ、ケアプランを作成している。プランは3ヶ月毎に見直し、現状に合った介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録は見やすく解りやすく書きやすい様子を試行錯誤のすえ完成した用紙を使用申し送り時に役立っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々あわせて最善が尽くせる様にしている。学習療法を取り入れたりしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の廃品回収や牛乳パックの解体など協力できる事をしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	小川赤十字病院の医師と家族の橋渡しができる様心がけ、ご家族の言いにくい事など、代弁出来る様心がけている。	月1回の協力医療機関での受診は、ホームが対応している。入居前からのかかりつけ医への受診は、家族に対応をお願いしている。他、訪問歯科が毎週水曜日に往診している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在訪問看護の使用はしていない。必要な時には、日赤の訪看さんをお願い出来る体制は出来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時や退院時はご家族の負担を軽減出来る様出来るだけホーム内で準備する。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	それぞれの考え方による理想的な終末時について話し合いをする。	重度化した場合や終末期のあり方については、現在の体制でどのように取り組むか、事業所が対応可能な支援方法を家族、協力医療機関と相談し、対応している。これまでターミナルまでの支援はなかったが、運営推進会議等を通じてターミナルに向けた支援について検討している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	心肺蘇生やAEDの使用法ハイムリック法など時間が勝負になる事に着いての訓練をしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防との関係は、大変密であり訓練もしている。又毎朝避難誘導の担当を磁石ボードで変更対応をしている。	年2回の防災訓練を実施。地域の消防団に2名が入団し、地域サロンで寸劇も行っている。ホームでは毎日ボードに誘導担当者を掲げ、火災時の役割分担を明確にし、防災への意識付けが出来るよう工夫している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	失禁時など自尊心を傷つけない声かけを徹底している。	入浴時はカーテンで仕切り、プライバシーを守る対応をしている。声掛けも本人の名前で呼ぶように努め、言葉使いには気を付けている。法人の理念である一人一人の尊厳を重視した支援に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	オープンエスチョンやクローズドエスチョンなど臨機応変に使い分けられ適切に意思を伝えられる様な支援を心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかには、時間が決まっているが、後本人の意向に合わせて、自由にしてもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容師さんを以来カラーやパーマをしている。又行き付けの美容院に送る事も支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	皮むきや配膳お皿洗いなどその人の好みや能力に合ったお手伝いをお願いしている。	入居者がのし板とのし棒で手打ちうどんを打ち、皆さんで食事を楽しんでいる。又、漬物をしたり、味噌づくりをする等、利用者の力を発揮し易い支援を行っている。皮むきやエプロンたたみ等、出来ることは一緒に行い、食事の準備や片付けもお願いしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	透析患者様の水分制限や糖尿患者様のカロリー制限を把握。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯の洗浄は、就寝時にポリデント洗浄毎食後はうがい対応のみ		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	時間誘導の入居者様と、しぐさによる尿意便意を把握してトイレに誘導の入居者様とを把握して自立に向けた支援対応をしている。	可能な限りトイレでの排泄を促している。本人の仕種、サインを把握し、トイレ誘導に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ホーム廊下の歩行や、犬の散歩午前中の牛乳おやつにさつまなどで対応。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	午前と午後に別けて入浴。1人で入浴を希望する入居者様などは見守り、長湯を希望する方も可能な範囲で対応	火・木・土の午前・午後に分け、2つのユニットで、入居者の生活習慣や時々の希望を大切にしたい入浴ができる様、臨機応変に支援している。衣服の着脱が億劫な為か、拒否されることもあるが、入浴後は喜ばれる為、声掛けの工夫をし、日々支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝など自由に出来る様ホーム内にはいたるところにソファがあり自由に足を伸ばせるようになってきている。又足のマッサージ器や足浴もしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1人1人に合った服薬支援一覧表が用意されている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	白菜をつけたり、たくあんをつけたり、ぬかずけを作ったり味噌を作ったりしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別ケアが毎日3人づつ30分あり、この時間で個別の対応をしている。	入居者の介護度、心身の状況により、全員での外出は難しく、個別に対応をしている。天気が良い時には近くを散歩したり、飼っている犬を介して交流もある。個別ケアの30分でせんげん山のドライブ等に行ったりしている。又、森林公園のイルミネーションを見に出掛け、楽しんだこともある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現実的にお金の所持がトラブルの原因になるケースが多く、お金を使う支援は出来ない認知症ならではの、行動の為グループホームでは、不可能と考えている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎや絵手紙の支援など力を入れている。又最近は携帯持参者も多い。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	除菌はドクタープラスを使用排気口や換気扇エヤコンなどの空気の流れ路の清掃に最善を尽くしている。各居室には温度計と湿度計を設置湿度は、50%プラスマイナス10%温度は、20度から26度証明は100から200ルクスを徹底。	玄関を入ると春を感じる菜の花が飾っており、広々としたリビングは吹き抜けで、四方から自然の柔らかな光が入る工夫をしている。季節の雛飾りや手作りの壁飾り、写真を飾り、暖かな雰囲気の中、楽しそうな話声が聞こえる。清掃専任スタッフを配置し、館内を清潔に保っている。温度や湿度にも気をつけている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下などにもソファがありくつろぐ事が出来る様になっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前使用していた家具などを使用して頂き入居前に近い空間の中で生活出来る様に支援。	入口の表札にも個性があり、居室内には洗面台を設置している。親しみ使い慣れた机、物入れがあり、ご主人や家族の写真が飾られたりと、入居者の個性が感じられ、思い思いに生活されている。居室の清掃もお掃除ボランティア、民生委員、職員とで行ない、清潔に保たれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで中庭もある為ホーム内は自由に行動できる。見守りの元自由行動をしている。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所自体が地域の一員となって日常的に交流が出来ていない	地域の中で、介護の悩みや相談がある方達が交流をもつ機会や場所を提供出来るようにする	回覧板で、その内容、開催予定日についてお知らせをする	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。